

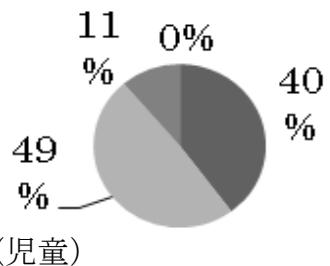
回収率 児童99% 保護者93%

日頃は、本校教育の推進にあたり、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。保護者の皆様には、アンケート形式で後期の学校評価をして頂きました。今回も回収率93%（前期93%）と多くの回答をいただきました。集計結果をもとに、学校運営協議会の理事会を開き、児童の自己評価と合わせて、理事の皆様よりご意見（学校関係者評価）をいただきました。学校評価の結果と話し合った内容等について報告いたしますので今後ともご協力のほどよろしくお願ひいたします。

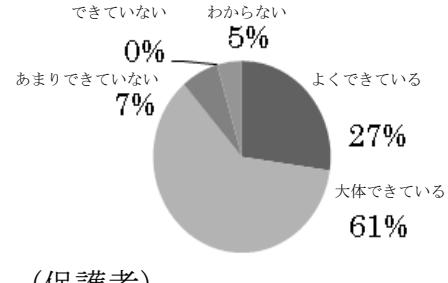
《児童の自己評価》

問題文	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
授業は楽しい。	33.0%	46.8%	16.0%	4.3%
授業はよくわかる。	36.7%	52.0%	8.2%	3.1%
毎日、家庭学習をしている。	52.1%	28.7%	16.0%	3.2%
家で読書をしている。	42.6%	24.5%	21.3%	11.7%
あいさつをしている。	39.8%	49.0%	11.2%	0.0%
学校のきまりを守っている。	30.9%	50.0%	18.1%	1.1%
学校は楽しい。	58.3%	31.3%	8.3%	2.1%
友だちやまわりの人を思いやり、大切にしている。	43.8%	49.0%	7.3%	0.0%
運動するようにしている。	47.4%	29.9%	18.6%	4.1%
先生に質問や相談をしやすい。	29.8%	43.6%	14.9%	11.7%
学校の行事を楽しんでいる。	58.8%	33.0%	6.2%	2.1%
地域の行事に参加している。	48.0%	30.6%	16.3%	5.1%

《あいさつ》



子どもがあいさつをすること



《あいさつについて》

学校では「あいさつのできる子」をめざしています。児童の自己評価で「あいさつをしている」と答えた児童は約40%です。登下校の様子からもあいさつが礼儀正しくはっきりとできる児童が多いとはまだまだ言えない現状です。

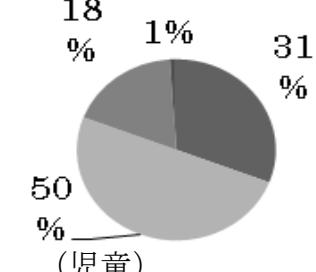
保護者の方の評価で「よくできている」は、27%です。自由に記述いただくところでも「もっとあいさつをしっかりとする子にしたい」と強く願っておられる声が多く届いています。

皆様、朝は「おはようございます」としっかりとしたあいさつから始めましょう。家庭、地域、学校が一体となり、大きな声でのあいさつがひびく桂小学校にしていきましょう。学校でも、引き続き日々の声かけ、朝会、児童会からの呼びかけ、「にこにこの日」などの取組を継続して進めていきます。

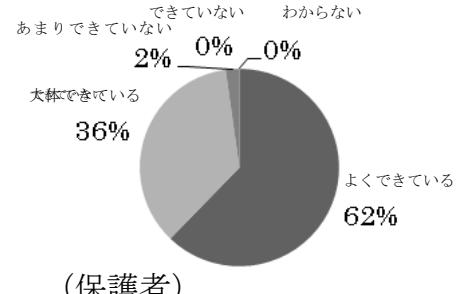
《学校のきまりを守ること》について

学校で集団生活をする中で、皆が安心して過ごすために最も重要なことが「きまりを守ること」です。「守っている」と答えた児童は、約30%です。再度、規範意識を強くもてるよう、6年生が全校に呼びかけている桂小学校のきまり「桂スタンダード」を再確認し、今後も「時間を守る」「スリッパをそろえる」「名札をつける」「ろうかを走らない」など、毎月の生活目標を具体的にあげ、クラスでも振り返り、意識を高くもてるよう引き続き取り組んでいきます。

学校のきまりを守る

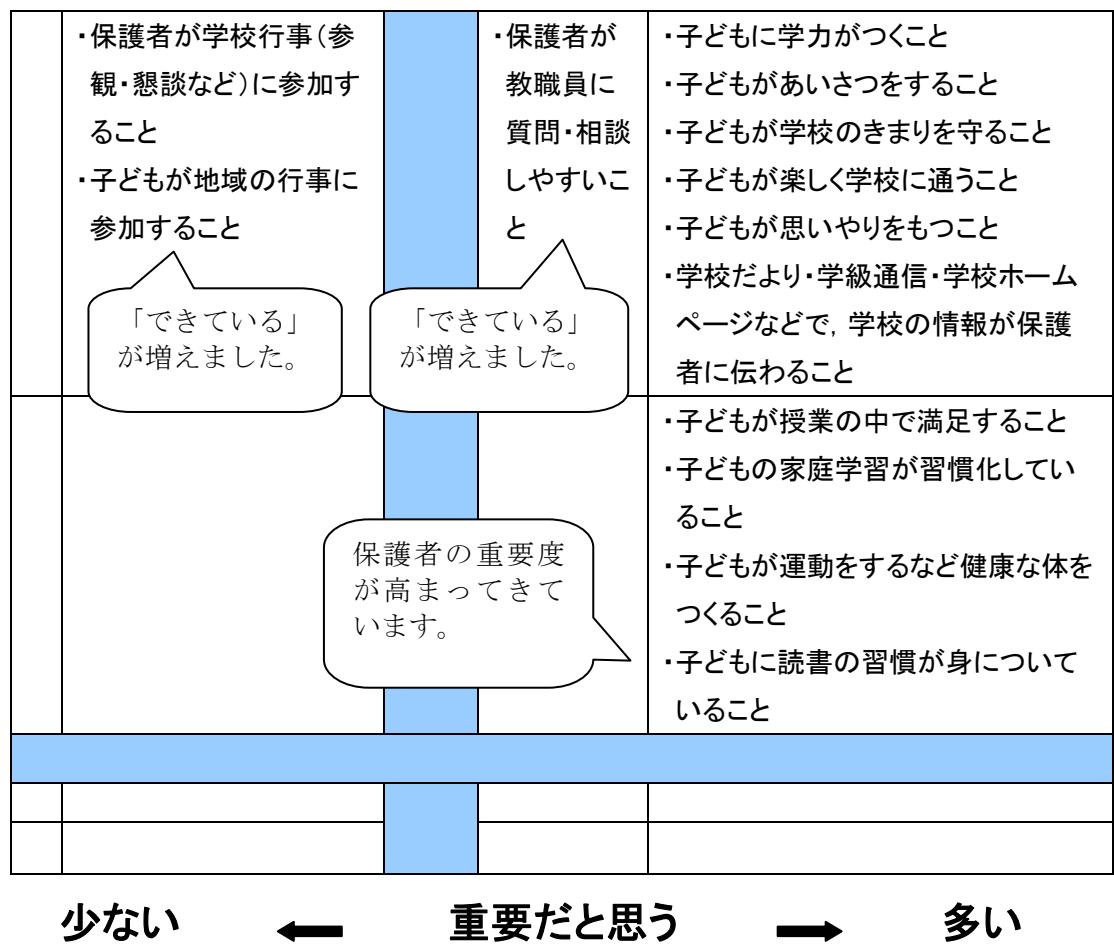


子どもが学校のきまりを守ること

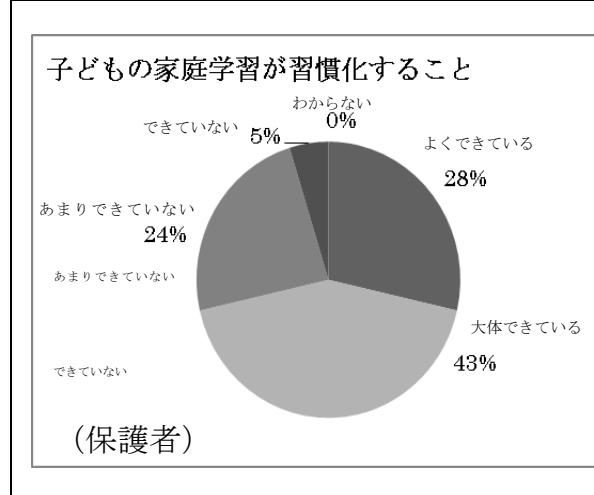
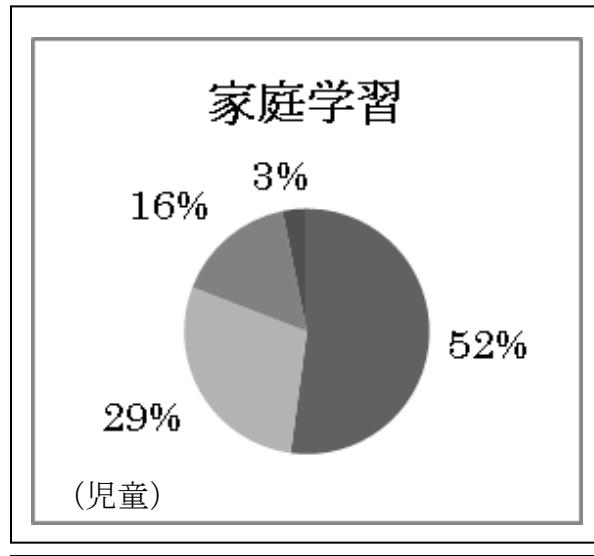


＜保護者評価＞

多い
↑ 実現できていると思う ↓ 少ない



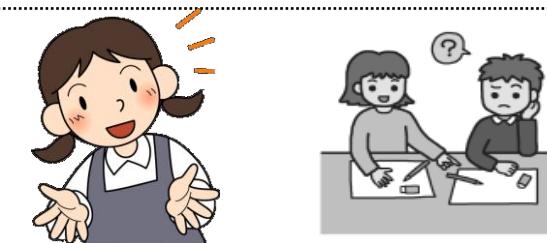
少ない ← 重要だと思う → 多い



家庭学習について

毎日家庭学習をしていると自己評価している児童が、52%です。基礎学力定着のためにも、家庭でその日の学習を振り返ったり予習をしたりすることは大切なことです。授業と家庭学習が連動したものとなるようさらに工夫していく、また、すべきことを最後までやりきる指導を徹底していきます。

家庭学習が習慣として身に付いていると評価された保護者の方は28%です。家庭学習を習慣化することは、生涯にわたり学び続ける人になる上でも重要なことです。子どもたちが主体的に一定時間は取り組めるよう、質、量、指導を今後さらに工夫していきます。家庭での指導もお願いたいです。



～保護者評価から～

「担任の先生にはきめ細かく指導していただき感謝しています」「多様な友だちに囲まれて、教科学習以外のあらゆることを身につけられる学校は本当に楽しそうです。友だちの発言から学んだことも家で楽しそうに話しています」「地域の方々にあたたかく見守っていただいているのがよくわかり、感謝しています」「合唱で全校がつながる。素敵ですね」といううれしい声があります。

課題としては、「あいさつがもっとできるようになってほしい」という声が多いです。引き続き、しっかりとあいさつのできる子になるよう、家庭でも、地域でも、学校でも指導をしていきましょう。また、「子どもにもっと授業に集中してほしい」という声もあります。授業者が授業内容をさらに工夫し続けることはもちろん、子どもが学習の成果をあげられるように日々の授業を確かなものとし、個に応じた指導をさらに進めています。

～学校運営協議会より～

- ・「あいさつすること」は、「できている」と自信をもって言える子にしたい。「大体できている」という子が「できている」と言えるようになるよう学校、家庭、地域が連携して指導していきましょう。
- ・「きまりを守ること」はできていなければならない。正しいことと正しくないことを判断でき、行動できる子に育てなければならない。
- ・家庭学習は生活リズムの中に位置づけ、家庭のルールとして守ることも必要である。
- ・子どもが友だちとよりよい関係を築くには、ことばを通したコミュニケーション力をつけることが大切である。子どもは環境により育つ。まわりの大人がきちんと手本を示すことを心がけていきたい。